



キャンプ場

## 利用者の皆様へ 駐車場案内

国道330号線、沖縄自動車道北中城ICから  
北駐車場/乗用車190台 バス10台  
国道329号線から  
西駐車場/乗用車100台 バス2台  
中城城跡向かい 台グスク 乗用車70台

## 秋のチョウ

### ツマムラサキマダラ

タテハチョウ科(マダラチョウ亜科) 台湾以南の東洋熱帯に広く分布。1970年代に八重山、1992年以降沖縄諸島、その後奄美でも発生が確認されている。

成虫は翅の長さ49mm。雄は翅が茶褐色の地色で、前翅のツマが青紫色輝き目立つ。雌の翅は全体茶褐色に白い筋が入る。翅表のツマはわずかに青紫色。

食草はクワ科ホソバムクイヌビワ、シダレガジュマル、ガジュマル、オウゴンガジュマル、オオバイヌビワ、ギランイヌビワ、ハマイヌビワ、オオイタビ、キョウチクトウ科リュウキュウテイカカズラ、サカキカズラ、キョウチクトウ、ホウライカガミ

訪花植物はサシグサ、カッコウアザミ、コスモス、コバノランタナ、サンゴジュ、シークワサー、シラタマカズラ、スイゼンジナ、スリナムゴウカン、タイワンウオクサギ、ツルソバ、ツルヒヨドリ、ツワブキ、テイキンザクラ、テリハノブドウ、トウワタ、ハチドリノキ、ヒヨドリバナモドキ、ホウライカガミ、ホルトノキ、マサキ、ランタナ。

### リュウキュウアサギマダラ

タテハチョウ科(マダラチョウ亜科) トカラ以南の東洋熱帯に広く分布。成虫の翅の長さ49mm。浅黄色の地色に白い筋状の斑紋がいくつも入る。雌は雄に比べてやや茶褐色に見える。

食草はキョウチクトウ科リュウキュウガシワ、トキワカモメヅル、ケナシツルモウリンカ、ツルモウリンカ、ナンゴクカモメヅル、ヨナクニカモメヅル

訪花植物はギョクシンカ、サシグサ、シークワサー、シラタマカズラ、タイワンウオクサギ、ツワブキ、トウワタ、ヌマダイコン、ホウライカガミ、マサキ、メキシコサワギク、ヤコウボク、ランタナ。

### マルバネルリマダラ

タテハチョウ科(マダラチョウ亜科) 台湾以南の東洋熱帯に広く分布

台湾、フィリピンからの迷蝶。八重山諸島での記録は多い。特に1992年から顕著でクワ科ホソバムクイヌビワ、ガジュマルでの発生が記録されている。沖縄島では時々迷蝶で記録されていたが2022年9月から今に至るまで多数記録された。成虫の翅の長さ50mm。雌雄で翅の形状が大きく異なる。雄の前翅後縁は大きく湾曲するのに対し雌は直線的。また雄前翅には青白いスポット状の性標がある。

訪花植物はサシグサ、ホルトノキ、スリナムゴウカン、ホウライカガミ、マサキ、ハマビワ、ツルヒヨドリ、ヒヨドリバナモドキ。



ツマムラサキマダラ♂ ♀



ツマムラサキマダラ幼虫



リュウキュウアサギマダラ幼虫



リュウキュウアサギマダラ

## 自然観察会

テーマ「秋のチョウ類観察会」

2025年10月4日(土) 9:30 ~ 11:00

中城公園「台グスクエリア」に生息するチョウ類は、沖縄県を代表するものばかりです。これまでの調査から5科64種記録されていて、秋は種類・数とも多くなる季節です。特に、国内では沖縄固有亜種のタテハチョウ科フタオチョウの生息地です。台グスクは高台に位置し太平洋、東シナ海を一望できます。自然を学び、絶景を見て両得の観察会です。



リュウキュウアサギマダラ集団



マルバネルリマダラ訪花



マルバネルリマダラ♂♀

日時 2025年10月4日(土)  
9:30 ~ 11:00

集合場所 台グスク駐車場

参加料 1,000円

定員 10名(小学生以上)

講師 比嘉正一(学芸員)

主催 中城公園  
(指定管理者: 沖縄文化スポーツイノベーション)

※実施の様子を撮影し、SNSや資料等に使うことがあります

参加申込 098-935-2666

〒901-2315 沖縄県北中城村字萩道平田原370-2

<https://www.nakagusukupark-osi.jp/>

中城公園

中城公園ニュースレター

くもぐす

2025年10月号

中城公園管理事務所 〒901-2315 沖縄県北中城村字萩道平田原370-2

TEL(098)935-2666 FAX(098)935-3533

<https://nakagusukupark-osi.jp>

指定管理者 沖縄文化スポーツイノベーション株式会社[タピックグループ] 編集・発行: 比嘉正一